
阿南市

小・中学校の再編・統合に係るアンケート調査

調査報告書

令和元年 11 月
阿南市教育委員会

目 次

1	調査概要	1
2	回答者属性	2
3	学校再編について	6
4	自由記載	28

Ⅰ 調査概要

- ・調査時期：令和元年7月1日～7月17日
- ・調査対象者：阿南市立小学校・中学校に在籍する児童・生徒の全保護者（悉皆調査）
- ・配布部数：5,437件
- ・配布方法：小・中学校を通じて配布・回収

調査対象者数	配布数	回収数	回収率
小学校に在籍する児童の保護者	3,765	2,797	74.3%
中学校に在籍する生徒の保護者	1,762	1,279	72.6%

※兄弟や姉妹がおり、複数の児童・生徒の保護者となっている場合は、1世帯あたり1件の提出を求めています。

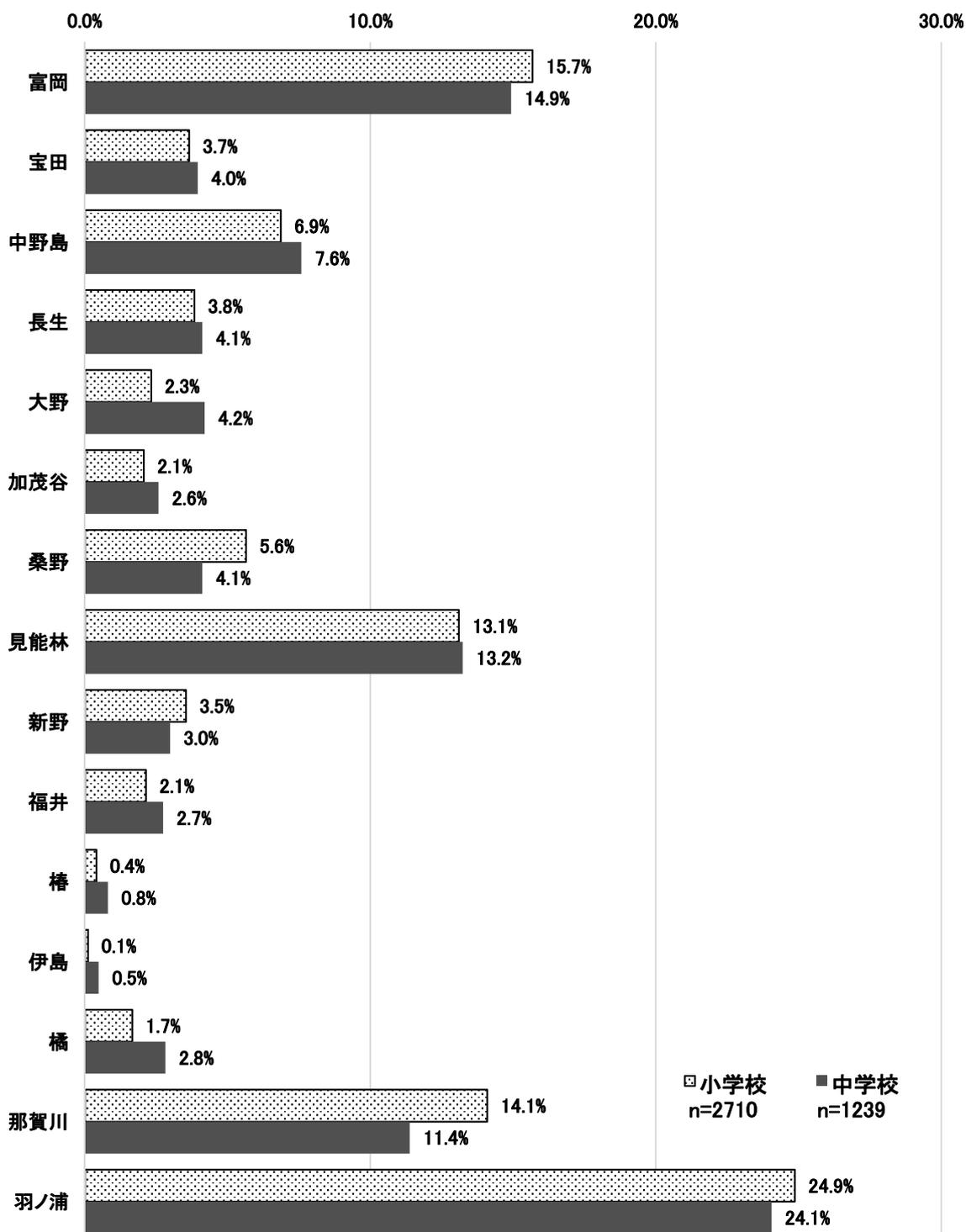
【報告書の見方について】

- ・悉皆調査（次ページの学校ごとの回収状況参照）
未回収分は未回答扱いとし、集計には反映させていません。
回収した調査票に未回答がありますが、上記同様に集計には反映させていません。
よって、設問ごとに回答者数（n）が異なります。
- ・グラフ及び表中のn（number of case）は、未回答（不明や無効を含む）を除いた回答者数を示します。
- ・回答結果の割合「%」は、回答者数（n）に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第3位で四捨五入しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。
- ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの回答者数（n）に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、「%」合計が100%を超える場合があります。

2 回答者属性

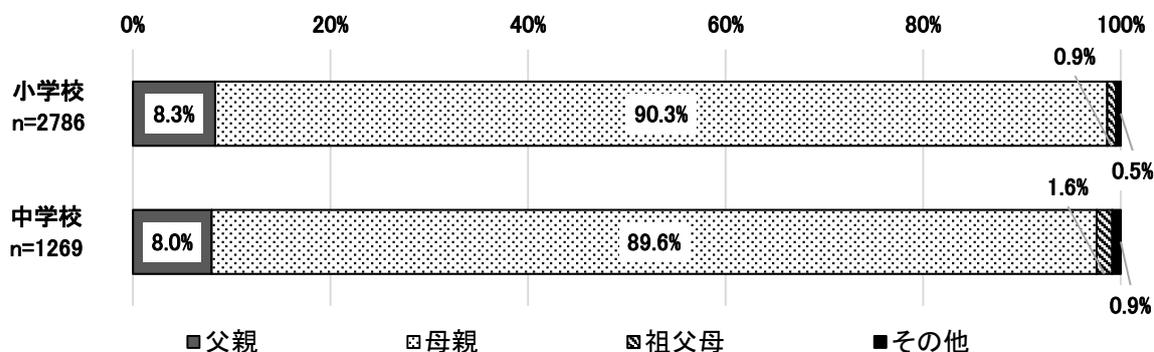
問1 地区

回答者数を地区別にみると、小学校、中学校ともに、「羽ノ浦」「富岡」「那賀川」「見能林」が多い地区となっています。



問2 保護者と子どもの関係

アンケートに回答した保護者と調査票を受け取った子どもとの関係では、母親が多く回答しており、小学校で90.3%、中学校で89.6%となっています。父親の回答は、少なく、小学校で8.3%、中学校で8.0%となっています。



○その他の回答

■小学校

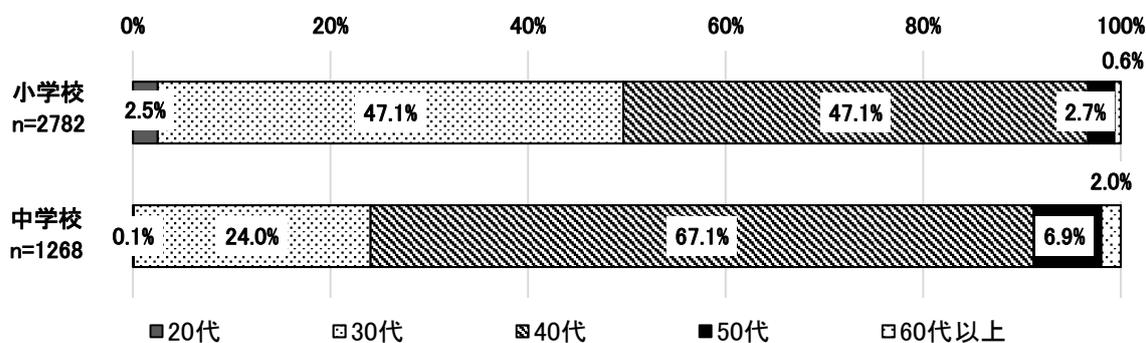
- ・施設職員
- ・父親と母親
- ・叔母

■中学校

- ・施設職員
- ・父親と母親
- ・叔母
- ・里母親

問3 保護者の年齢

保護者の年齢は、「40代」と「30代」が多くを占めており、小学校では「40代」が47.1%、「30代」も47.1%となっています。中学校では「40代」が67.1%、「30代」が24.0%となっています。「20代」は小学校2.5%、中学校0.1%となっています。

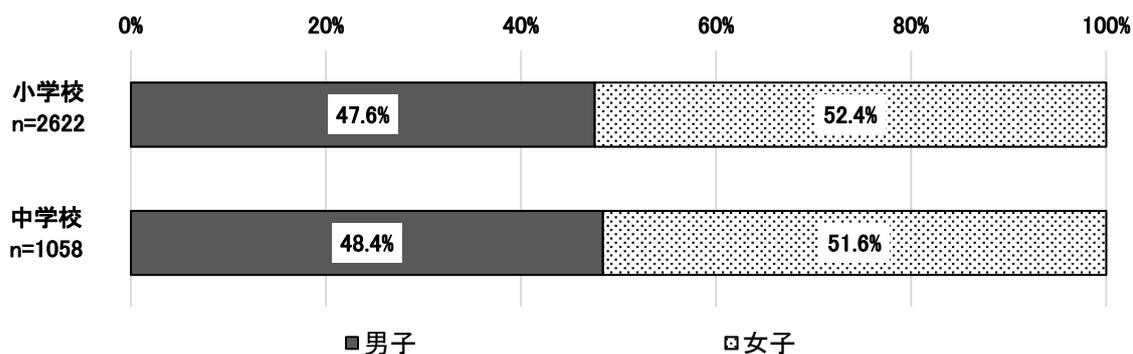


問4 子どもの性別と学年

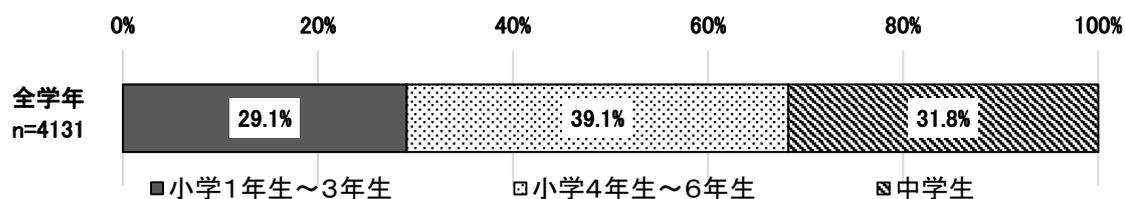
子どもの性別は、小学校では「男子」47.6%、「女子」52.4%となっており、「女子」の比率が高くなっています。中学校では「男子」48.4%、「女子」51.6%となっており、「女子」の比率が高くなっています。

学年は、「小学1年生～3年生」29.1%、「小学4年生～6年生」39.1%、「中学生」31.8%となっています。

○性別



○学年



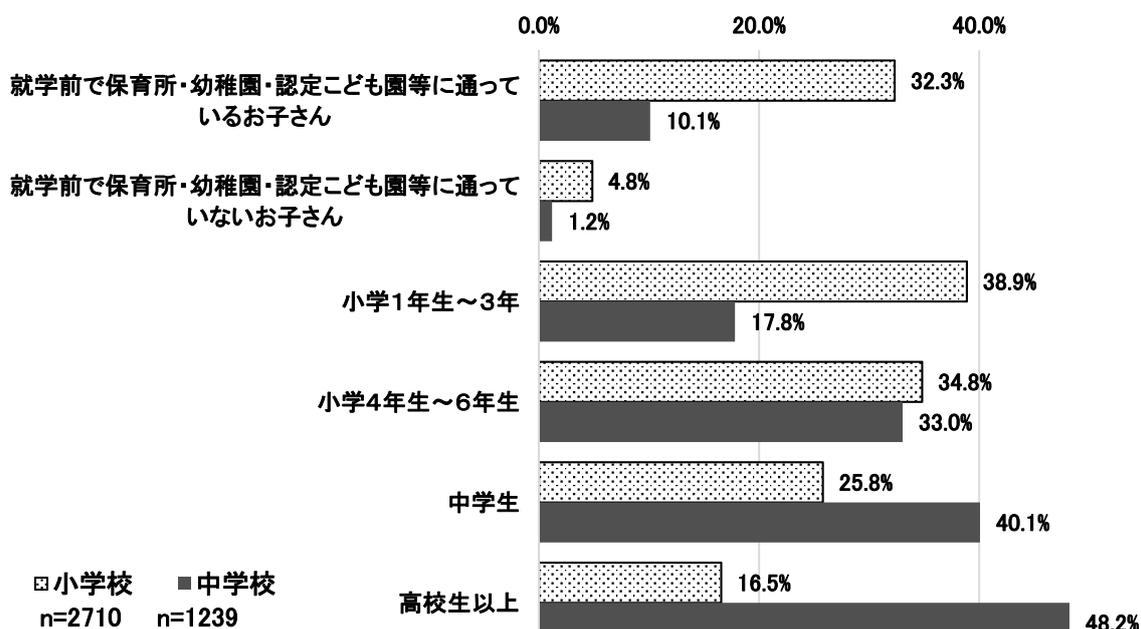
問5 兄弟・姉妹の学年と人数

※設問はアンケートを受け取ったお子さんは含んでいません。

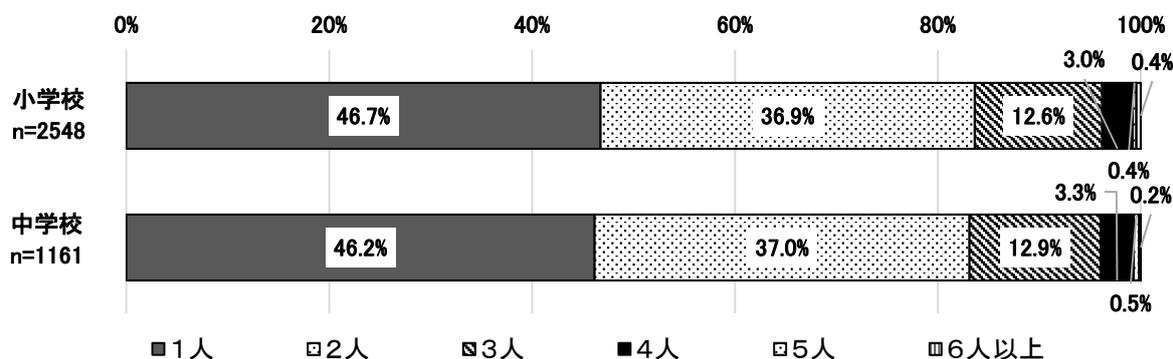
兄弟・姉妹の学年については、小学校では上位から「小学1年生～3年生」38.9%、「小学4年生～6年生」34.8%、「就学前で保育所・幼稚園・認定こども園に通っているお子さん」32.3%となっています。中学校では、上位から「高校生以上」48.2%、「中学生」40.1%、「小学4年生～6年生」33.0%となっています。

兄弟・姉妹の人数については、小学校では、上位から「1人」46.7%、「2人」36.9%、「3人」12.6%となっています。中学校では、上位から「1人」46.2%、「2人」37.0%、「3人」12.9%となっています。

○学年



○人数



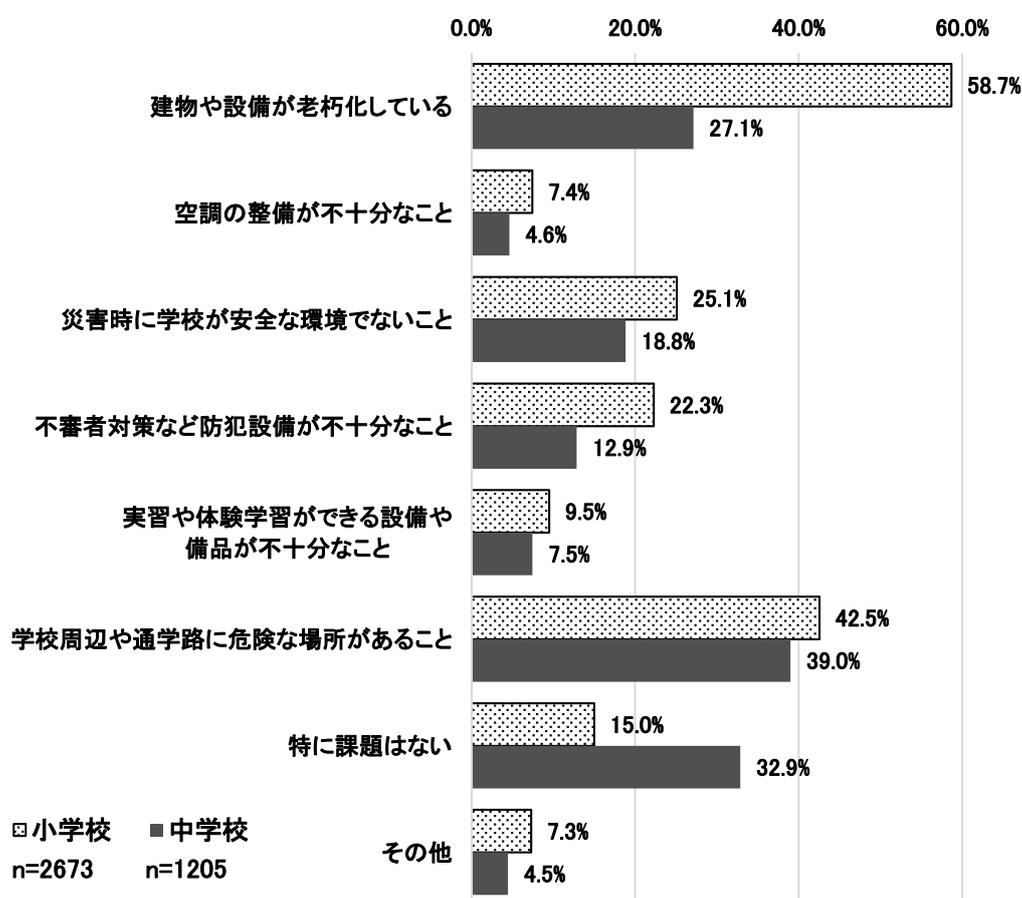
3 学校再編について

問6 現在、お子さんが通学している学校の設備や環境で、課題と思われることはありますか。(〇はいくつでも)

学校の設備や環境面での課題については、小学校では、上位から「建物や設備が老朽化している」58.7%、「学校周辺や通学路に危険な場所があること」42.5%、「災害時に学校が安全な環境でないこと」25.1%となっています。

中学校では、上位から「学校周辺や通学路に危険な場所があること」39.0%、「特に課題はない」32.9%、「建物や設備が老朽化している」27.1%となっています。

小学校、中学校ともに「建物や設備が老朽化している」と「学校周辺や通学路に危険な場所があること」が上位に入っています。



○その他の回答

■小学校

(教育内容について)

- ・放課後や長期休みを過ごすのが学童しかない点。もっと学力や体力向上のプログラムで共働きの子どもでも参加しやすいプログラムがあればと思う。

(施設に関する事)

- ・トイレの老朽化、洋式が無い。
- ・プールをきれいにしてほしい。
- ・送迎の為の駐車場がない。

(その他)

- ・体操服、制服の名前をなくしてほしい。
- ・学校への通学路に歩道が無いこと、電柱が路上にある事、大型車の通行量が多い等への安全対策が必要。

■中学校

(施設に関する事)

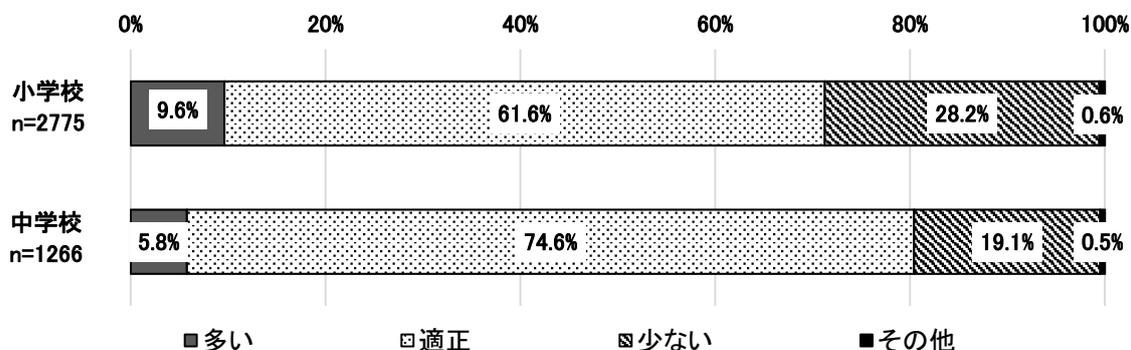
- ・グラウンドがせまい、水捌けがが悪い等。
- ・洋式トイレがない。
- ・プールがない。

(その他)

- ・学校への通学路に歩道が無いこと、街灯が少ない等への安全対策が必要。

問7-1 現在、お子さんがいる学年の学級（クラス）数についてどう思われますか。
 (○は1つ)

現在の学年の学級（クラス）数については、小学校、中学校ともに「適正」が半数以上を占めており、小学校では61.6%、中学校では74.6%となっています。次いで「少ない」が多く、小学校では28.2%、中学校では19.1%となっています。



○その他の回答

■小学校

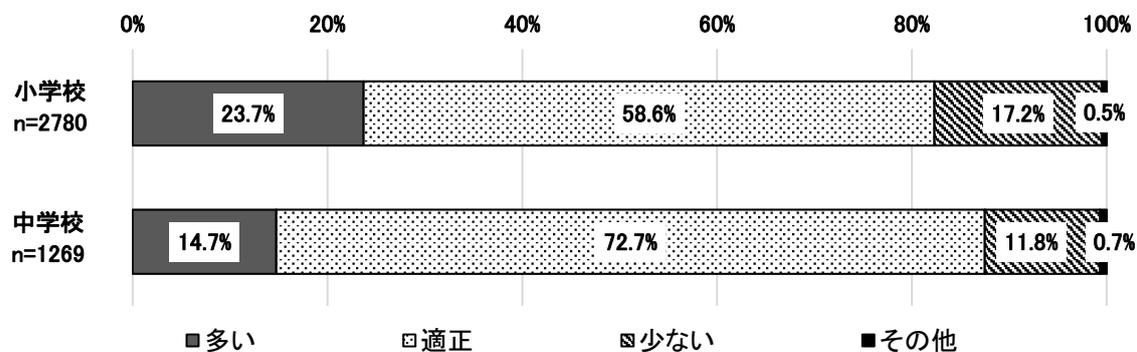
- ・多くても少なくてもどちらでもいいので何も思わないです。3クラスくらいあればいいなと思う。
- ・適正 or 少ない。2～3学級（2件）学校全体として規模の割に児童数が多いと感じる。
- ・子供の数が少ないので仕方ない。

■中学校

- ・元々人数が少ないので仕方ない。

問7-2 現在、お子さんがいる学級（クラス）の生徒数・児童数についてどう思われますか。（○は1つ）

現在の学級（クラス）の生徒数・児童数については、小学校、中学校ともに「適正」が半数以上を占めており、小学校では58.6%、中学校では72.7%となっています。次いで「多い」が多く、小学校では23.7%、中学校では14.7%となっています。



○その他の回答

■小学校

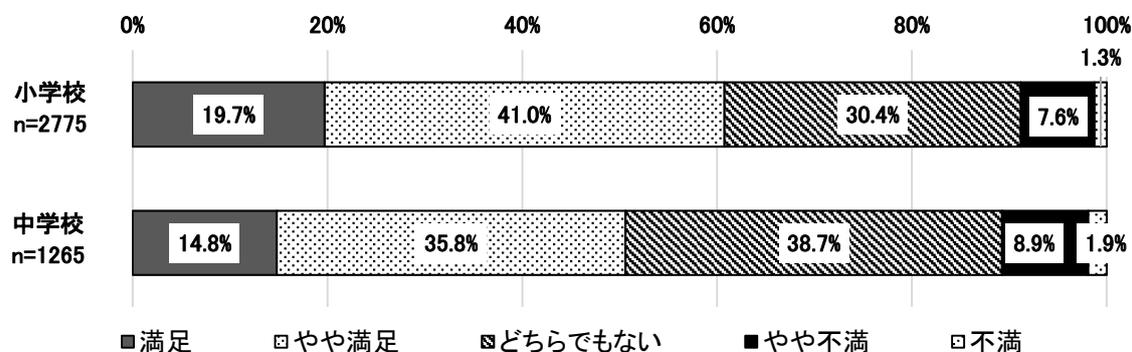
・人数に対して教室が狭い。

■中学校

・元々人数が少ないので仕方ない。

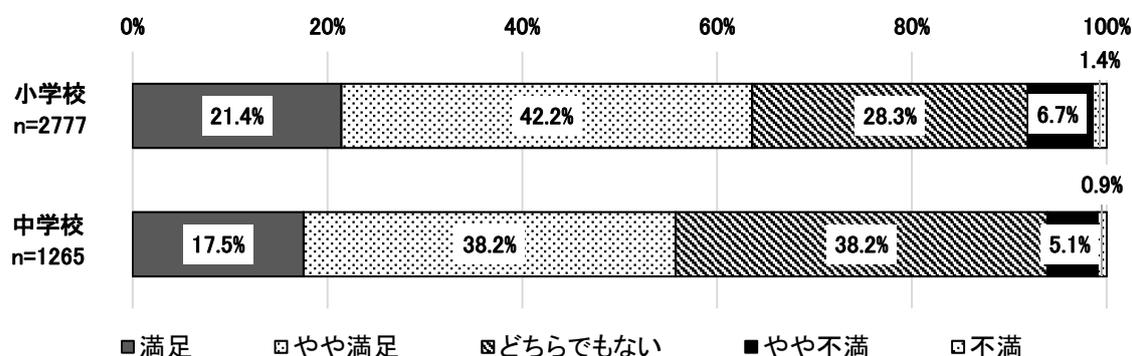
問8-1 現在、お子さんがいる学校で、教科の学習環境の満足度についてお答えください。
(○は1つ)

教科の学習環境の満足度については、「満足」「やや満足」の合計が小学校では、60.7%、中学校では 50.6%となっており、どちらも半数を超えています。小学校に比べ中学校では満足度が低い傾向となっています。



問8-2 現在、お子さんがいる学校で、課外学習や学校行事の満足度についてお答えください。(○は1つ)

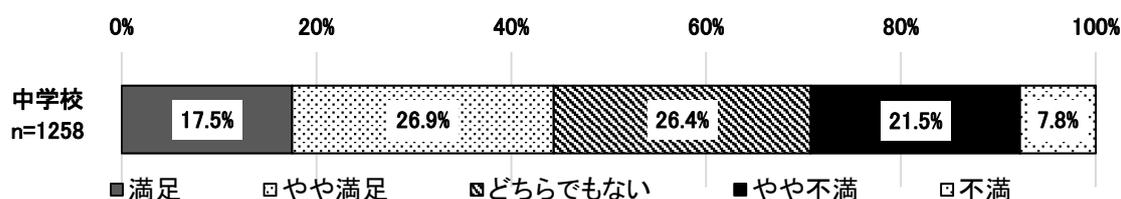
課外学習や学校行事の満足度については、「満足」「やや満足」の合計が小学校では、63.6%、中学校では 55.7%となっており、どちらも半数を超えています。小学校に比べ中学校では満足度が低い傾向となっています。



問8-3 中学生の保護者の方のみお答えください。

現在、お子さんがいる学校で、部活動の練習環境の満足度についてお答えください。(○は1つ)

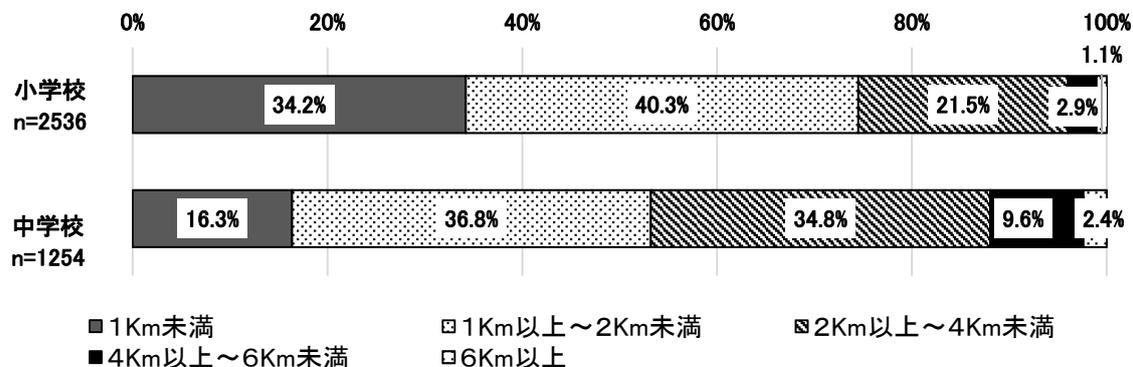
中学校における部活動の練習環境については、「満足」「やや満足」の合計が 44.4%となっており、「やや不満」「不満」の合計が29.3%となっています。「教科の学習環境」「課外学習や学校行事」に比べて満足度が低くなっています。



問9 学校までの通学距離はどれくらいですか。(○は1つ)

通学距離については、小学校では「1 km 以上～2 km 未満」が40.3%と最も多く、次いで「1 km 未満」が34.2%となっています。2km 未満が74.5%を占めています。

中学校では「1 km 以上～2 km 未満」が36.8%と最も多く、次いで「2 km 以上～4 km 未満」が34.8%となっています。1Km 以上 4Km 未満が71.6%を占めています。



○その他の回答

■小学校

・7～13km 間の回答でした。

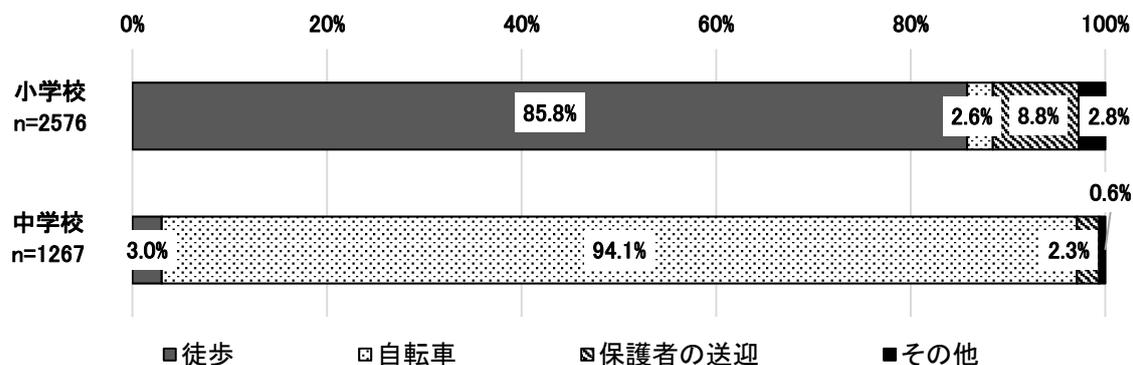
■中学校

・6～30km 間の回答でした。

問10 現在の通学方法についてお答えください。(〇は1つ)

通学方法については、小学校では「徒歩」が85.8%と最も多く、次いで「保護者の送迎」が8.8%となっています。「その他」では「バス」「タクシー」「途中まで送迎」「朝のみ送迎」等の回答がありました。

中学校では「自転車」が94.1%と最も多く、次いで「徒歩」が3.0%となっています。「その他」では「自動車」「自転車と保護者の送迎」等の回答がありました。



○その他の回答

■小学校

- ・保護者の送迎+徒歩。
- ・自転車とスクールバス。
- ・タクシー+徒歩。
- ・自転車+JR。

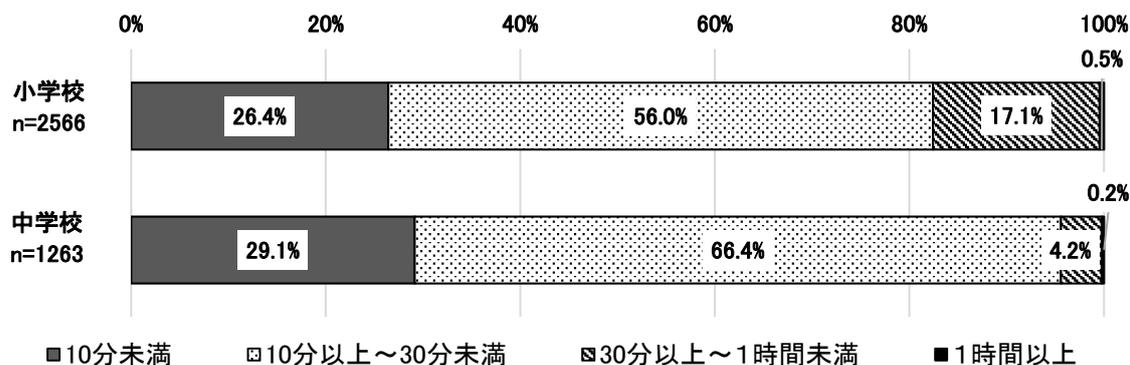
■中学校

- ・保護者の送迎。
- ・自転車。
- ・JR。

問 11 通学の時間はどれくらいですか。(○は1つ)

通学の時間については、小学校では「10分以上～30分未満」が56.0%と最も多く、次いで「10分未満」が26.4%となっています。30分未満が82.4%を占めています。

中学校では「10分以上～30分未満」が66.4%と最も多く、次いで「10分未満」が29.1%となっています。30分未満が95.5%を占めています。小学生に比べて、通学時間の短い中学生の割合が高いのは自転車通学をする生徒が多いことが影響していると考えられます。



○その他の回答

■小学校

・70～110分間の回答でした。

■中学校

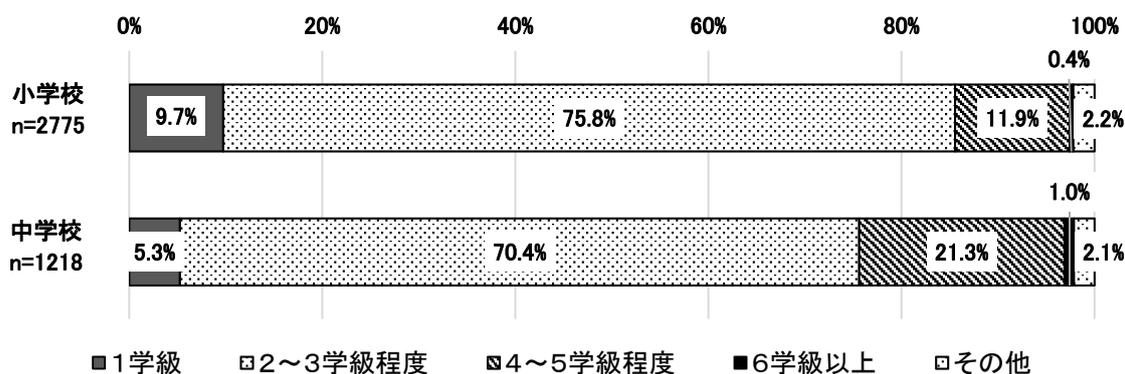
・90分間の回答でした。

問12-1 小学校における一つの学年での学級数は、どの程度が望ましいと考えますか。
(○は1つ)

小学校における一つの学年での望ましい学級数については、小学生の保護者では「2～3学級程度」が75.8%と最も多く、次いで「4～5学級程度」が11.9%となっています。

中学生の保護者では「2～3学級程度」が70.4%と最も多く、次いで「4～5学級程度」が21.3%となっています。

小学生の保護者、中学生の保護者ともに「2～3学級程度」と回答した割合が70%以上を占めています。



○その他の回答

■小学校

- ・ 3～4学級。
- ・ 1～2学級。
- ・ 1クラス 20～30人。

■中学校

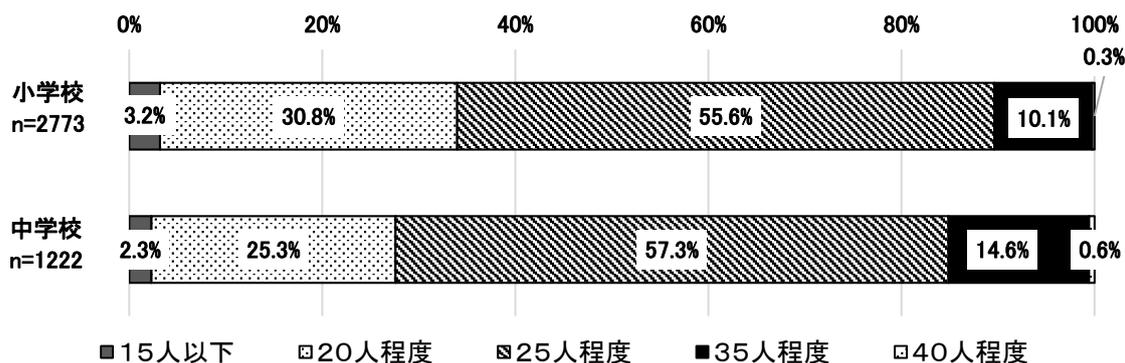
- ・ 3～4学級
- ・ 1クラス 20～30

問12-2 小学校における1学級あたりの児童数は、どの程度が望ましいと考えますか。
(○は1つ)

小学校における1学級あたりの望ましい児童数については、小学生の保護者では「25人程度」が55.6%と最も多く、次いで「20人程度」が30.8%となっています。

中学生の保護者では「25人程度」が57.3%と最も多く、次いで「20人程度」が25.3%となっています。

小学生の保護者、中学生の保護者ともに「25人程度」と回答した割合が半数以上を占めています。

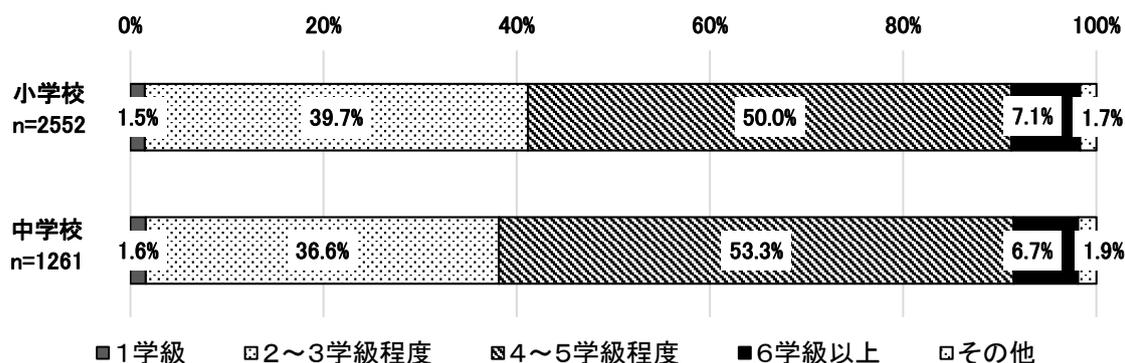


問13-1 中学校における一つの学年での学級数は、どの程度が望ましいと考えますか。(○は1つ)

中学校における一つの学年での望ましい学級数については、小学生の保護者では「4～5学級程度」が50.0%と最も多く、次いで「2～3学級程度」が39.7%となっています。

中学生の保護者では「4～5学級程度」が53.3%と最も多く、次いで「2～3学級程度」が39.6%となっています。

小学生の保護者、中学生の保護者ともに「4～5学級程度」と回答した割合が半数以上を占めています。



○その他の回答

■小学校

- ・1クラス 30～40人。
- ・学級あたりの児童数が適当であればクラス数は何クラスでもいい。
- ・3～4学級程度

■中学校

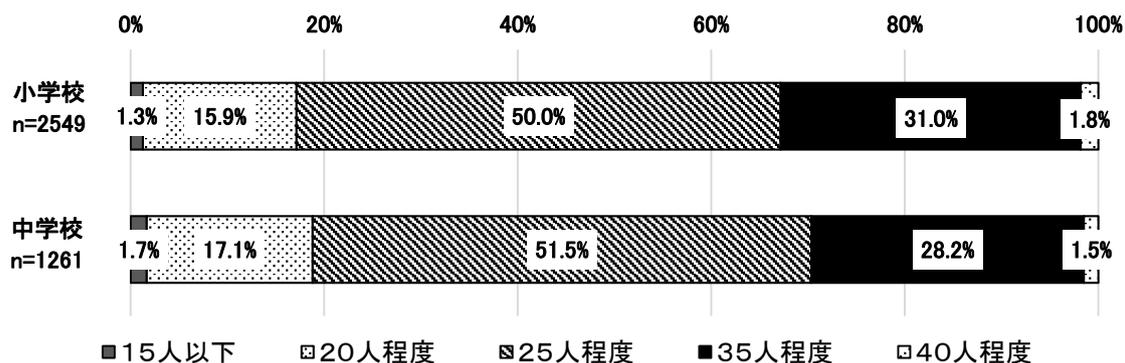
- ・1クラス 20～30人。
- ・人数による。

問13-2 中学校における1学級あたりの生徒数は、どの程度が望ましいと考えますか。(○は1つ)

中学校における1学級あたりの望ましい生徒数については、小学生の保護者では「25人程度」が50.0%と最も多く、次いで「35人程度」が31.0%となっています。

中学生の保護者では「25人程度」が51.5%と最も多く、次いで「35人程度」が28.2%となっています。

小学生の保護者、中学生の保護者ともに「25人程度」と回答した割合が半数以上を占めています。

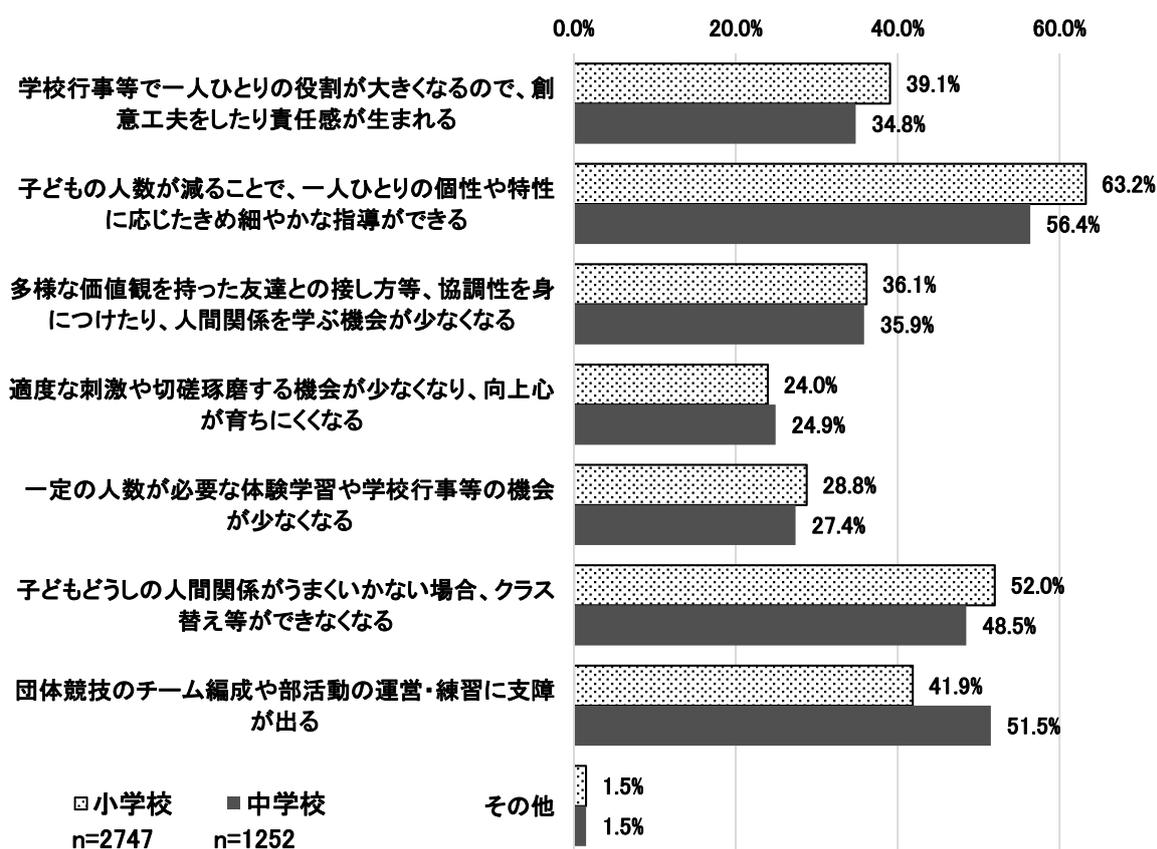


問14 阿南市では、少子化により小中学校の児童数・生徒数が減ることが予測されています。学級数や1学級あたりの人数が減ることで、子どもにどのような影響があると考えますか。(〇はいくつでも)

児童数・生徒数減少により考えられる影響については、小学生の保護者では、上位から「子どもの人数が減ることで、一人ひとりの個性や特性に応じたきめ細やかな指導ができる」63.2%、「子どもどうしの人間関係がうまくいかない場合、クラス替え等ができなくなる」52.0%、「団体競技のチーム編成や部活動の運営・練習に支障が出る」41.9%となっています。

中学生の保護者では、上位から「子どもの人数が減ることで、一人ひとりの個性や特性に応じたきめ細やかな指導ができる」56.4%、「団体競技のチーム編成や部活動の運営・練習に支障が出る」51.5%、「子どもどうしの人間関係がうまくいかない場合、クラス替え等ができなくなる」48.5%となっています。

児童数・生徒数の減少により「きめ細やかな指導ができる」といったプラス面を予測する保護者が多くなっています。一方で、小学生の保護者では「子どもどうしの人間関係」、中学生の保護者では「部活動の運営・練習」が最も多い懸念事項となっています。



○その他の回答

■小学校

- ・何より教師の目が良く行き届き、いじめなどなくなるのではないか。
- ・担任の先生の負担を減らせると思う。
- ・人数が減ることで必然と横のつながりが減り、ある程度の決められた友達関係しか築けなくなる。
- ・学校行事等での一人ひとりの役割が大きくなる分負担も大きい。
- ・教師の目が行き届くのであれば人数は関係ないと思います。

■中学校

- ・個性が重要視され、社会性が乏しくなる。
- ・部活が選べない。

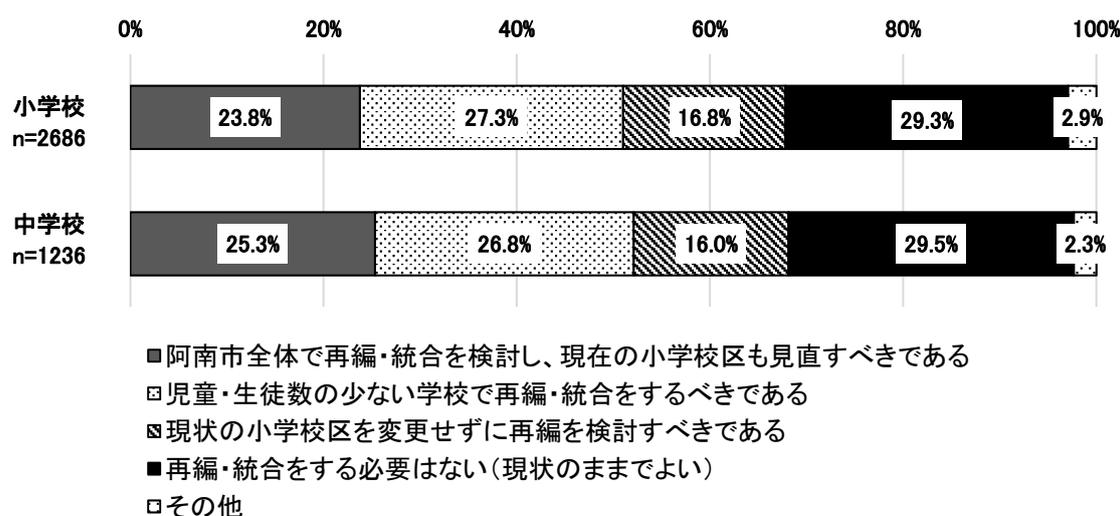
問15 阿南市における、今後の学校再編・統合について、どのようにするのが望ましいと考えますか。(〇は1つ)

阿南市全体での学校再編・統合について、どのようにするのが望ましいかでは、小学生の保護者では、上位から「再編・統合をする必要はない(現状のままでよい)」29.3%、「児童・生徒数の少ない学校で再編・統合をするべきである」27.3%、「阿南市全体で再編・統合を検討し、現在の小学校区も見直すべきである」23.8%となっています。

中学生の保護者では、上位から「再編・統合をする必要はない(現状のままでよい)」29.5%、「児童・生徒数の少ない学校で再編・統合をするべきである」26.8%、「阿南市全体で再編・統合を検討し、現在の小学校区も見直すべきである」25.3%となっています。

小学生の保護者、中学生の保護者ともに同じ傾向が見られ、「再編・統合をする必要はない(現状のままでよい)」が最も多くなっています。

学校ごとにみると、小学校では横見、山口、椿泊において、「再編・統合をする必要はない(現状のままでよい)」という意見が50%以上となっています。中学校では、「再編・統合をする必要はない(現状のままでよい)」という意見が50%以上の学校はありませんが、阿南第一、加茂谷、椿町、那賀川で30%以上となっています。



○その他の回答

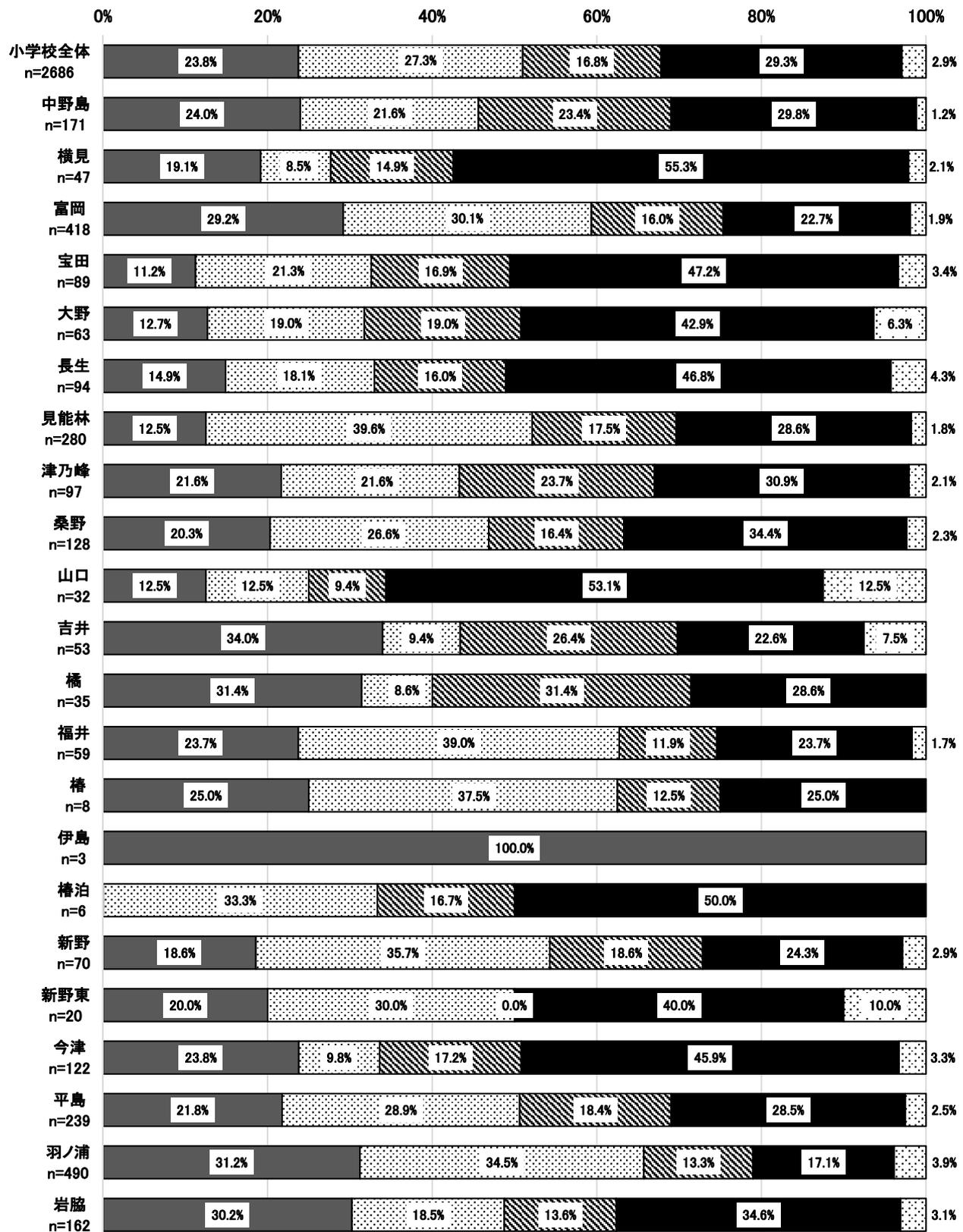
■小学校

- ・小・中一貫校。
- ・通学距離や時間のことを考えた上で検討すべき。
- ・クラスあたりの生徒数も考えて、多すぎる学校も再検討し、先生が目が一人ひとりに行き届くようにすべきである。
- ・各小学校が独自性を持ってもいいのでは。

■中学校

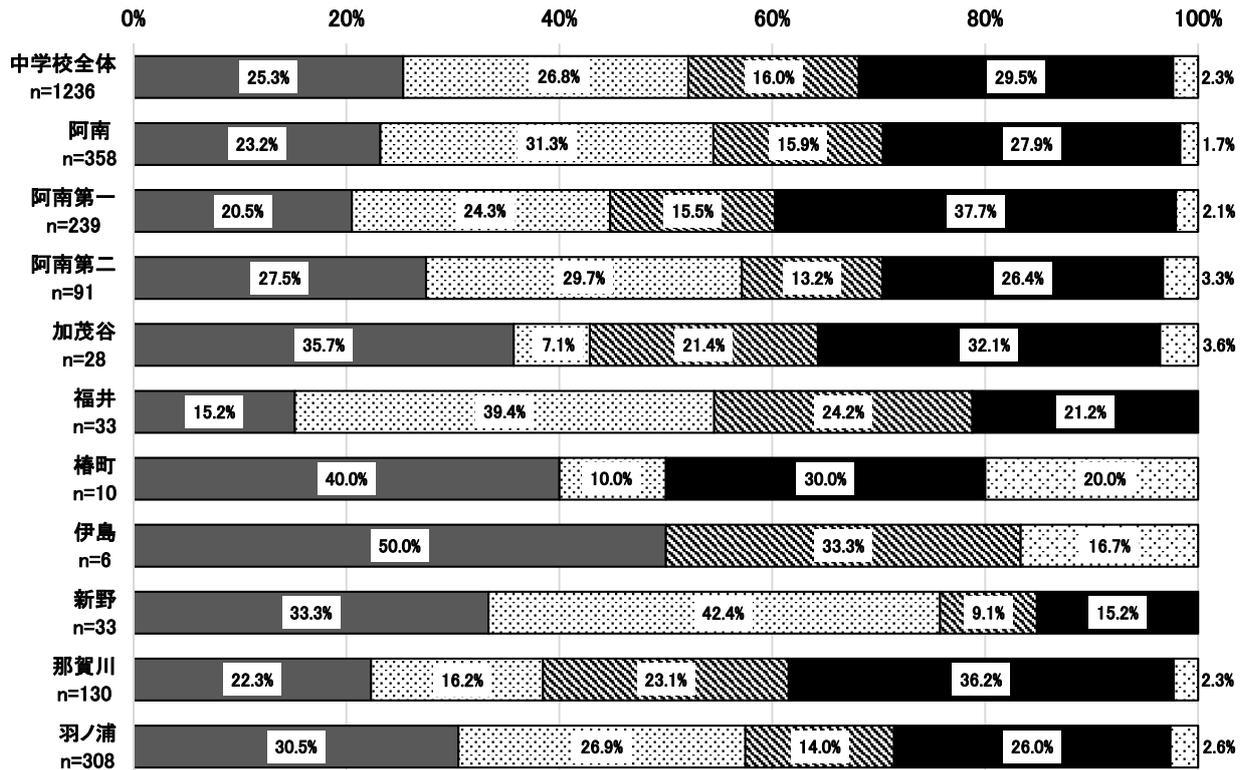
- ・小中一貫校。
- ・統合するにしても小学生なら徒歩通学、中学生なら自転車通学できない距離だと困る。

○学校ごとの集計（小学校）



- 阿南市全体で再編・統合を検討し、現在の小学校区も見直すべきである
- 児童・生徒数の少ない学校で再編・統合をするべきである
- ▨ 現状の小学校区を変更せずに再編を検討すべきである
- 再編・統合をする必要はない(現状のままでよい)
- その他

○学校ごとの集計（中学校）



- 阿南市全体で再編・統合を検討し、現在の小学校区も見直すべきである
- ▣ 児童・生徒数の少ない学校で再編・統合をするべきである
- ▤ 現状の小学校区を変更せずに再編を検討すべきである
- 再編・統合をする必要はない(現状のままでよい)
- ▣ その他

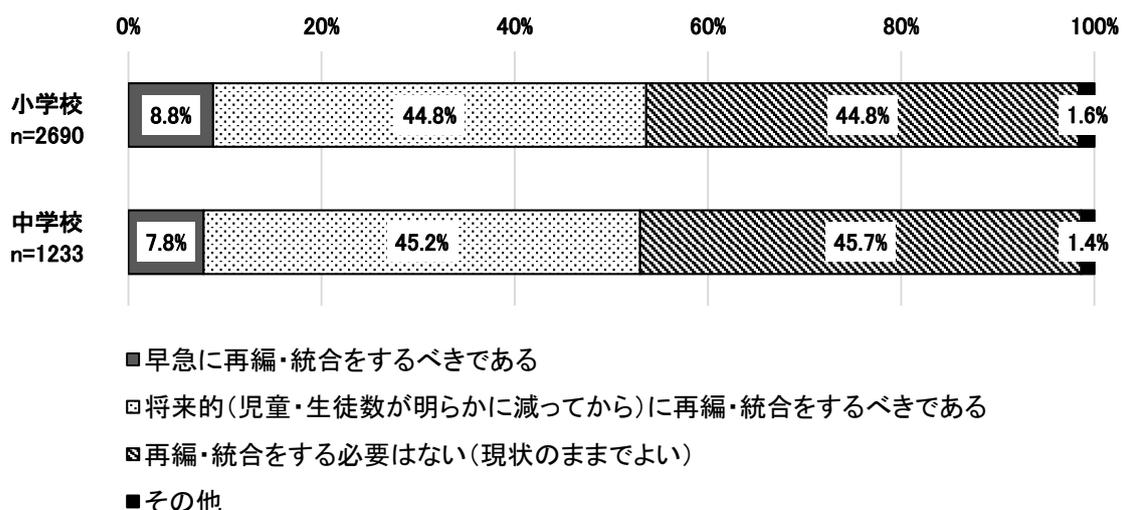
問16 お子さんの通学する学校における、今後の学校再編・統合について、どのようにするのが望ましいと考えますか。(〇は1つ)

現在、子どもが通学する学校における学校再編・統合について、どのようにするのが望ましいかでは、小学生の保護者では、「将来的(児童・生徒数が明らかに減ってから)に再編・統合をするべきである」と「再編・統合をする必要はない(現状のままでよい)」が、ともに44.8%となっています。

中学生の保護者では、「再編・統合をする必要はない(現状のままでよい)」が45.7%と最も多く、次いで「将来的(児童・生徒数が明らかに減ってから)に再編・統合をするべきである」が45.2%となっています。

小学生の保護者、中学生の保護者とも同じ傾向で、「早急に再編・統合すべきである」は少なくなっており、「将来的(児童・生徒数が明らかに減ってから)に再編・統合をするべきである」と「再編・統合をする必要はない(現状のままでよい)」が拮抗しています。

学校ごとにみると、小学校では伊島、椿、福井、吉井において、「早急に再編・統合すべきである」が多くなっています。中学校では、椿町、新野、福井、伊島で「早急に再編・統合すべきである」が多くなっています。



○その他の回答

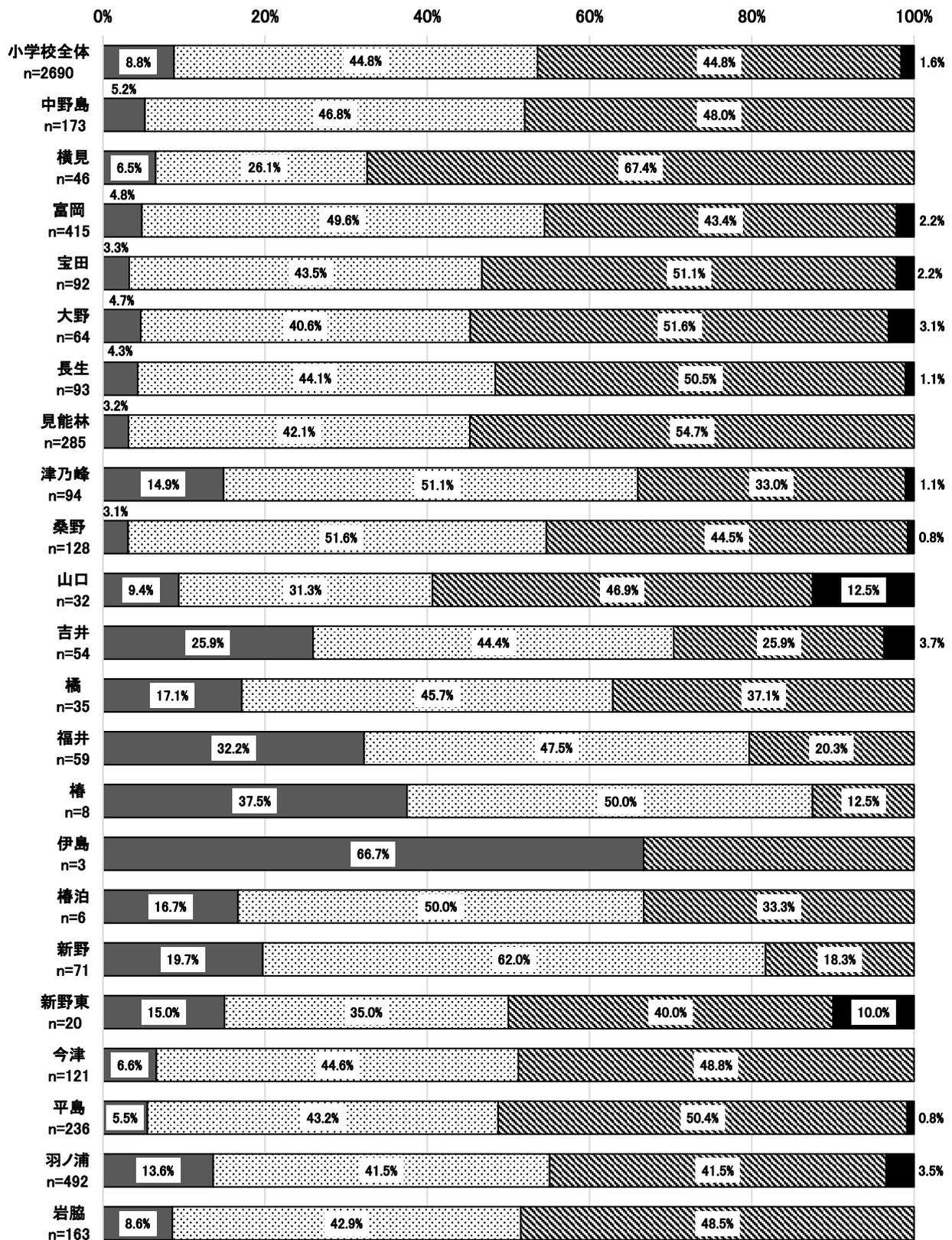
■小学校

- ・生徒数が減ってから考え出すのでは遅い。
- ・早急に再編・統合をするに向けて、現場と家族との意見交換をしてねっていくべき。
- ・人数増加に対する対応を検討してほしい。

■中学校

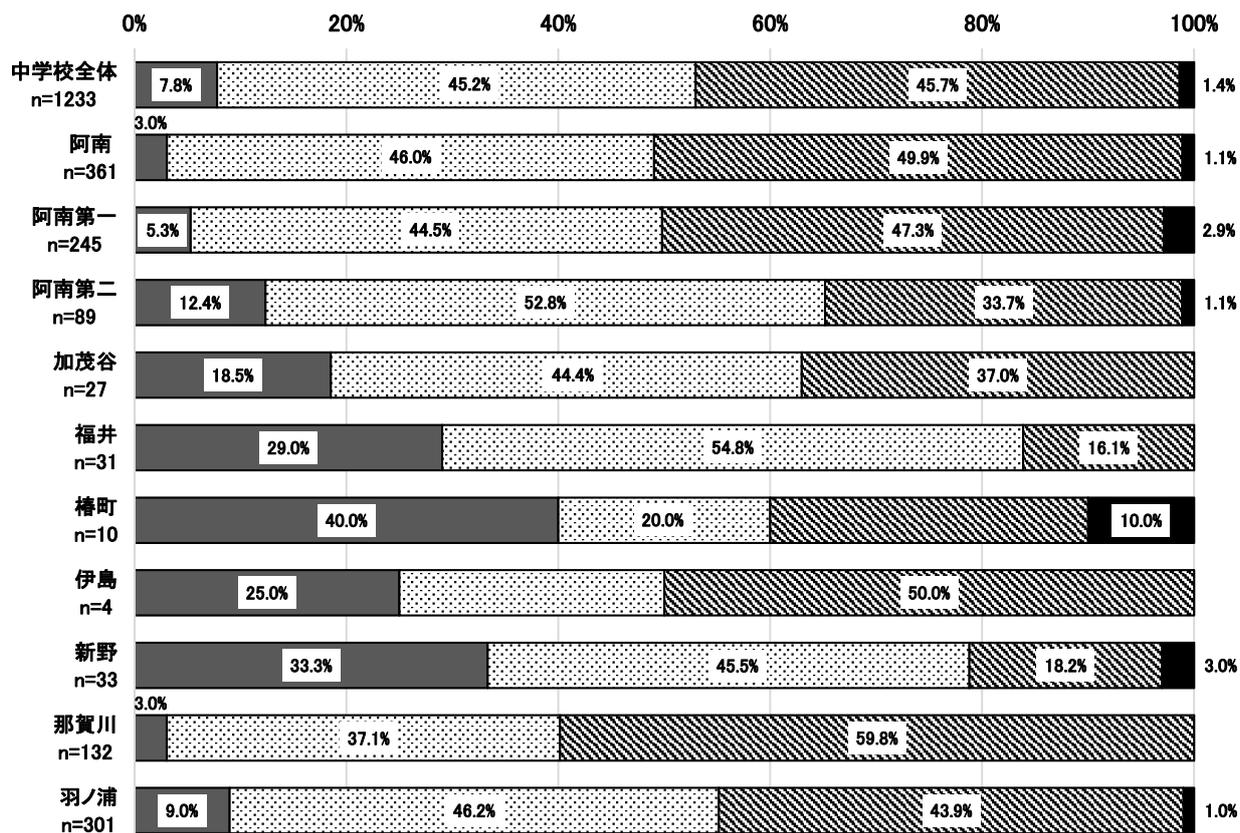
- ・生徒数の差を小さくするように再編するのが良い。

○学校ごとの集計（小学校）



- 早急に再編・統合をすべきである
- 将来的(児童・生徒数が明らかに減ってから)に再編・統合をすべきである
- ▨ 再編・統合を必要はない(現状のままでよい)
- その他

○学校ごとの集計（中学校）



- 早急に再編・統合をすべきである
- 将来的(児童・生徒数が明らかに減ってから)に再編・統合をすべきである
- ▨ 再編・統合を必要はない(現状のままでよい)
- その他

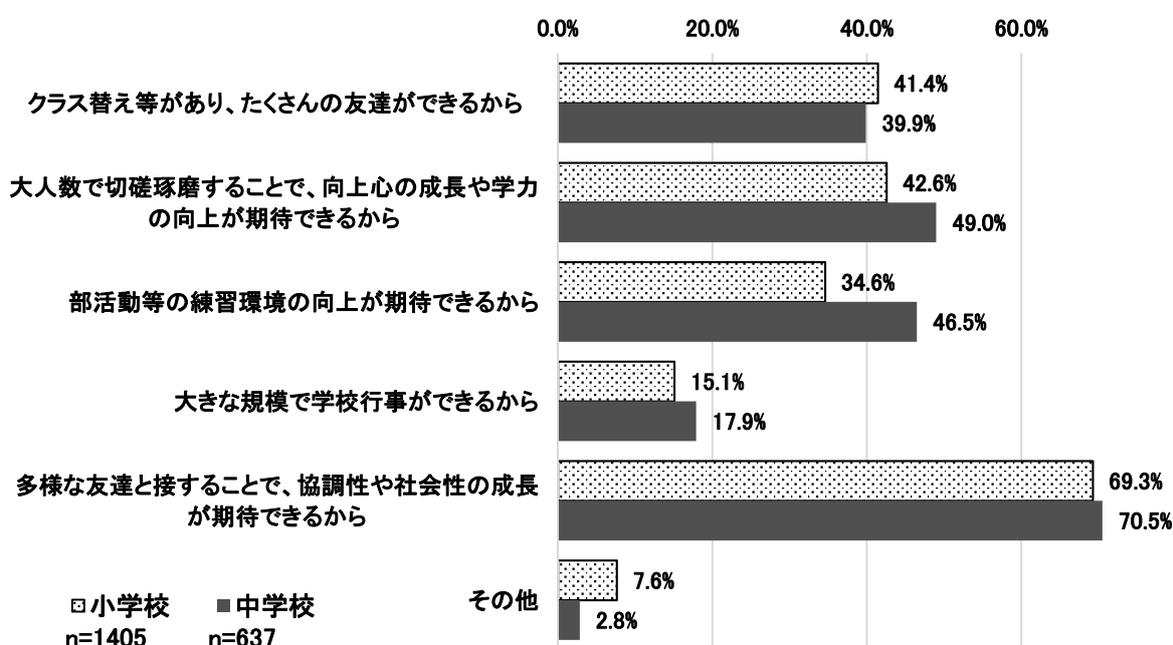
問16-1 問16において、「1 早急に再編・統合をするべきである」または「2 将来的（児童・生徒数が明らかに減ってから）に再編・統合をするべきである」と回答した方のみお答えください。

再編・統合をするべきと考える理由について、お答えください。

（○はいくつでも）

再編・統合をするべきと考える理由については、小学生の保護者では、上位から「多様な友達と接することで、協調性や社会性の成長が期待できるから」69.3%、「大人数で切磋琢磨することで、向上心の成長や学力の向上が期待できるから」42.6%、「クラス替え等があり、たくさんの友達ができるから」41.4%となっています。

中学生の保護者では、上位から「多様な友達と接することで、協調性や社会性の成長が期待できるから」70.5%、「大人数で切磋琢磨することで、向上心の成長や学力の向上が期待できるから」49.0%、「部活動等の練習環境の向上が期待できるから」46.5%となっています。



○その他の回答

■小学校

- ・多数の学校を維持する予算を教育に必要な分野へ回しより充実した教育環境を整えることができる。
- ・充実した教育活動をするためにある程度の人数は必要だから。
- ・統合のことで先生の人員不足も解消される。
- ・人件費や諸経費の節約。
- ・複式学級になる前に再編した方がよい。
- ・人数が少ないと役員などで保護者の負担が大きい。

■中学校

- ・減ってから、再編・統合となると親にとっても負担になるので早めに解決するのが望ましいと思う。

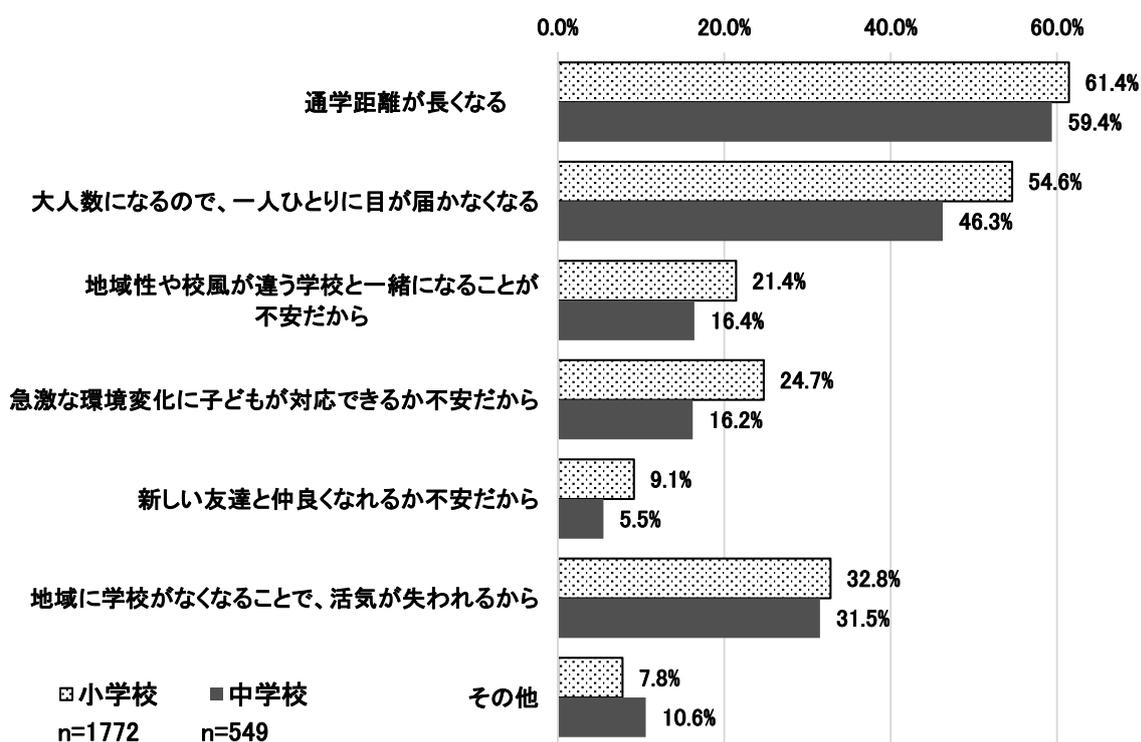
問16-2 問16において、「3 再編・統合をする必要はない（現状のままでよい）」と回答した方のみお答えください。

再編・統合をする必要がないと考える理由について、お答えください。

（〇はいくつでも）

再編・統合をする必要はないと考える理由については、小学生の保護者では「通学距離が長くなる」が61.4%と最も多く、次いで「大人数になるので、一人ひとりに目が届かなくなる」が54.6%となっています。

中学生の保護者では「通学距離が長くなる」が59.4%と最も多く、次いで「大人数になるので、一人ひとりに目が届かなくなる」が46.3%となっています。



○その他の回答

■小学校

- ・学校がなくなれば、被災時に避難場所がなくなる地域が出てくるのではないか。
- ・少人数のクラスであっても、その分厚い教育ができると思う。
- ・スクールバス整備が優先すべき。
- ・特色ある活動（防災）がなくなるから。

■中学校

- ・地域性が薄れる、地域のつながりが希薄になる。

4 自由記載

問17 学校再編・統合について、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

■小学校の主な意見

(再編・統合について)

- ・学校は地域の文化的意味もあり、効率だけで数をしばるのは問題である。
- ・今のままであってほしい。
- ・1学級当たりの児童を少なく(小学校20人以下、中学校30人以下)すべき。
- ・規模は、生徒一人ひとりに先生の目が配れることで判断する。
- ・少人数の小学校では子供の成長に本当に望ましくない。
- ・多人数がいる学校は、どうしても友達同士でトラブルが多かったり、勉強についていけない子が多いように思う。

(授業数等について)

- ・土曜授業を月1回くらい復活させるなど、平日の授業数を減らすこと。

(通学)

- ・安全に登校できるということ。
- ・統合して遠くなれば、保護者の送迎も必要となり、保護者の負担が増える。
- ・(統合になるならば)スクールバスを手配する。
- ・再編統合にはスクールバスの運行と一緒に検討すべき。

(その他)

- ・大規模校、小規模校それぞれにメリットがあるため、どちらが良いか単純には選べない。

■中学校の主な意見

(再編・統合について)

- ・住んでいる地域から中学校が統合して無くなると、その地域に住んでいる意味が無くなる。
- ・複式学級等になると学習面で問題が出そう。
- ・小規模校での団体部活、学校行事となると、保護者はもちろん、子どもなどにも負担がかかる。

(部活動)

- ・部活動の事ですが、人数が少ないせいでやりたい部がなかったり、体調や持病の関係で限られてくるのに入れる部がなかったり。学校によって格差になっている。

(通学)

- ・学校再編、統合すると、通学路や通学方法に問題が出ないかと心配だ。いつも自家用車で送迎しなくてはいけなくなると、共働き家庭にはかなりの負担にもなりそうです。